



特定非営利活動法人
まちなか研究所

わcわc

2018年度 事業報告書

-第15期-

目次

事業一覧

ミッション

2018年度ハイライト

Special Thanks

事業部総括

組織運営

体制

2018年度事業一覧（一部抜粋）

1. まちの担い手育成事業部

- 沖縄地域社会ビジョン大学院2018
- 宜野湾市地域コーディネーター養成講座・ぎのわん地域づくり塾2018
- なは市民協働大学院
- ファシリテーター育成
なんじょう♥市民大学<9期生>第7回講座への講師派遣
アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業（全5回）
沖縄県主任介護支援専門員研修「地域援助技術」等

2. 暮らしの環境づくり事業部

- 沖縄県NPO等活動基盤強化事業「NPO法人会計基準講座&税理士個別相談会」
- なは市民活動支援センター講座2018
- 人材データバンクモデル事業講座ワークショップ（講師）
- 宜野湾市規範的統合研修（全2回）
- 沖縄県民生委員活動活性化事業
- 福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業
- マチグワー楽会（第11回）の開催 等

3. 調査・研究事業部

- 南城市津波古区地域コミュニティ計画策定支援
- 地域情報誌「み〜きゆるきゆる」の販売
- 宜野湾市中間支援機能実態調査
- 各種委員の派遣
- 地域円卓会議
久高島へのUターンを考える地域円卓会議
沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議
単身シニア女性の貧困を考える地域円卓会議
認知症に起因する徘徊と安心なまちづくりを考える地域円卓会議
公共交通を福祉とまちづくりの視点から考える地域円卓会議 等

4. 総務

- 経営状況改善に向けての取り組み
- 会員向け勉強会（2回）の開催 等

当会の使命と基本理念

【使 命】 2004年設立（2005年2月法人認証）

すべての人々が、自ら暮らすまちを

想い、考え、納得してつくっていただけるような市民社会の実現

【合言葉】

みんなで「決めて」みんなが「つくる」そんな社会づくりのために、

まちわくは人と組織を「つなぎ」「話し合う」場と社会環境をつくります。

【基本理念】

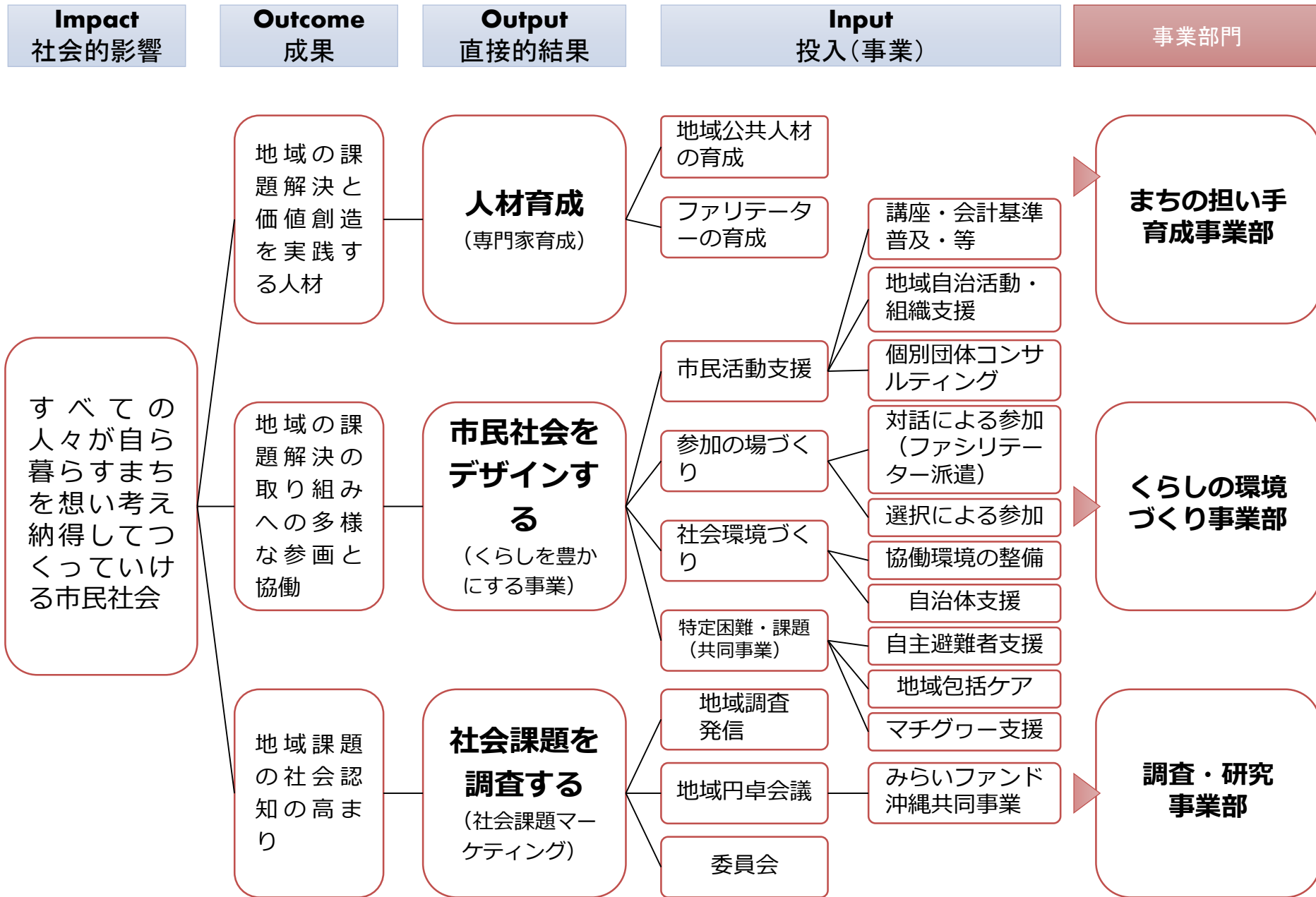
- みんなで決めてみんながつくるまちづくりの活動と活動サポート
- 市民公益活動を行う団体の活動サポートと市民社会のインフラ整備
- 参加型の場づくりの企画運営と人材育成
- 地域のNPOモデルとなるような継続的な市民活動の組織運営

法人概要



名 称	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく
設 立 年 月 日	2004年4月1日
法人設立年月日	2005年2月25日 NPO法人格取得
事 業 年 度	毎年4月1日～翌年3月31日
代 表 理 事	小阪 亘
住 所	〒902-0065 沖縄県那覇市壺屋1-7-5民衆ビル4F
T E L & F A X	098-861-1469
E m a i l	office@machiwaku.com
U R L	http://www.machiwaku.com/

事業部門



2018年度事業ハイライト

宜野湾市地域コーディネーター養成講座ぎのわん地域づくり塾3期目

- －上大謝名をモデル地域に7/2(月)～10/21(日)
- －内容 全7回講座＋スキルアップ講座(全8回終了)
- －企画立案チームには51名(女性:34名、男性:17名)
- －第3期を終え、修了生が93名へ

沖縄地域社会ビジョン大学院第8期を終え、修了生が111名へ

- －2018年6月22日(金)～8月18日(土)の9週間で開催。
- －12講座、6ゼミ、チームで企画提案(中間発表・最終発表)を実施。
- －受講料(全課程40,000円、トライアル20,000円)での自主運営。
- －受講生20名(全課程11名、トライアル9名) 第8期修了生11名

沖縄県民生委員活動活性化事業

- －沖縄県より2社(まちわく、労福協)でコンソーシアムを組み受託
- －モデル地区支援(8単位民児協)、単位民児協ヒアリング、個人情報研修、活動強化方策研修、等を実施

福島県県外避難者への生活再建支援拠点設置・運営事業

- －福島県事業。委託元:ふくしま連携復興センター。
- －「福島避難者のつどい 沖縄じゃんがら会」との協働事業。
- －福島からの沖縄への県外避難者への相談交流会の開催、相談拠点の設置・運営

なは市民協働大学院

- －日時 7/29(日)～12/8(土)、全8回講座、主催:那覇市
- －業務受託者 NPO法人1万人井戸端会議
- －連携事業者 NPO法人まちなか研究所わくわく

なは市民活動支援センター講座

- －NPO・市民活動の現場を体験！スタートアップ講座！「知る！体験する！！活かす！」全4回連続講座(9月20日(木)～11月15日(木))

沖縄県NPO等活動基盤強化事業

- －10-11月「NPO法人会計基準講座&税理士個別相談会」(4回)



宜野湾市地域コーディネーター養成講座ぎのわん地域づくり塾3期目



なは市民活動支援センター講座

2018年度 理事会の役割・方針

- ① 中長期的な計画や予算・組織編制・人事など、団体の方針に関する判断
(意思決定)
- ② 助言やイベントへの協力など、現場の支援
- ③ ネットワーキングなど、外部への働きかけ

月		内容
4月	理事ミーティング(第1回)	報告議題:月次事業報告、月次会計報告 協議事項:2017年度事業振返り、2018年度事業計画作成に向けて等
	決算理事会	審議事項:2017年事業報告書(案)・決算書(案)承認、2018年度事業計画書(案)・予算書(案)承認、通常総会開催の件
5月	理事会(第2回)	審議事項:第1号議案代表理事及び副代表理事の互選について
7月	理事ミーティング(第2回)	報告議題:月次事業報告、月次会計報告 協議事項:ー
8月	理事ミーティング(第3回)	報告議題:月次事業報告、月次会計報告
10月	理事ミーティング(第4回)	報告議題:月次事業報告、月次会計報告 協議事項:事務所の引っ越しについて、法人設立20周年に向けた準備、今年度拡大理事会の日程・持ち方について
12月	理事ミーティング(第5回)	報告議題:月次事業報告、月次会計報告 協議事項:スタッフ面談の実施、リーフレット・アニュアルレポートの作成、スタッフの求人について、社労士への依頼について、拡大理事会の日程・持ち方について
1月	理事ミーティング(第6回)	報告事項:月次事業報告、月次会計報告 協議事項:スタッフ面談の実施、スタッフの求人について
3月	理事ミーティング(第7回)	報告議題:月次事業報告、月次会計報告 協議事項:職員採用について、期末手当について、スタッフ面談について

2018年度 組織運営

会 員	正会員20名／賛助会員3名
通常総会の開催	2018年5月22日(火) 19:30～21:30
決算理事会の開催	2018年4月28日(土) 13:00～16:00 29日(日) 9:30～13:00
理事会の開催	まちなか研究所わくわくの運営に関して月1回理事による運営会議を開催。必要に応じて、理事会を開催（理事会：年2回、理事ミーティング：年7回、拡大理事会：1月）
関連団体	公益財団法人みらいファンド沖縄 マチグワー楽会
加盟組織	曙小学校区まちづくり協議会（構成団体） 小規模多機能自治推進ネットワーク会議（会員） NPO法人会計基準協議会（会員） チャイルド・ホープ・アクション沖縄（構成団体） NPO法人シーズ（賛助会員）

2018年度 事務局体制

事務局長	宮道喜一
まちの担い手育成 事業部	常勤：宮道、小阪亘、下地美香、賀数邦彦
くらしの環境づくり 事業部	常勤：宮道、小阪、下地、賀数 非常勤：桜井野亜（沖縄じゃんがら会）、原ちひろ（沖縄じゃんがら会）、 アルバイト：日塔万貴、宮崎浩枝、井上飛鳥、桜井碧（沖縄じゃんがら会）、 北村正貴、金城完紀
調査・研究 事業部	常勤：小阪、宮道、賀数 アルバイト：東濱克紀
総務・経理部	常勤：宮道、下地
職員が外部役職を 務める主な団体	小阪 亘 公益財団法人みらいファンド沖縄 代表理事 一般社団法人全国コミュニティ財団協会 副会長 NPO法人1万人井戸端会議 理事 認定NPO法人アンビシャス 理事 株式会社オフィスハート 役員 沖縄国際大学 非常勤講師 宮道喜一 NPO法人ハンディサポートふれんど 理事 コミュニティ・エンパワメント・オフィスFEEL Do 研究員 株式会社玉野総合コンサルタント 非常勤嘱託 沖縄国際大学 非常勤講師

2018 Special Thanks

□ 沖縄地域社会ビジョン大学院2018受講学生割インターン、協力

- 伊禮門千咲、宮城仁太郎、上地励、前本凌我
- 寄付をいただいた講師の皆さま、2018年度受講生、修了生の皆さま
- 天久ヒルトップ、国立大学法人 琉球大学

□ 事業ボランティア

- 屋良朝之

市民社会を実現する まちの担い手育成事業部

市民がまちの担い手として活躍する市民社会の実現に向けて、地域の課題解決と価値創造を実践し、多種多様なまちの主体をつなぐことのできる人材の育成。

●事業部方針（2018年度）

①沖縄における地域公共人材の育成。（2011年度～）

沖縄地域社会ビジョン大学院のコースの階層化により、より地域社会でチャレンジしていく人材の育成。

②市民ファシリテーターの育成。（2004年度～）

③専門職へのファシリテーション技術研修の開発。（2014年度～）

地域福祉の専門職や地域自治経営に携わる人材に対する参加の技術の波及。



方針 番号	事業分類	実施時 期	事業の概要	収入年額 (単位:千円)
①	地域公共人材の育成	1回	<ul style="list-style-type: none"> ■沖縄地域社会ビジョン大学院2018 ・6/16(土)公開講座 地域づくりとSDGs ～ACEの活動事例から考える～、講師:岩附由香氏(NPO法人ACE代表)、参加者30名 ・6/22(金)～8/18(土)ビジョン大学院2018開校。受講生20名(全課程11名、トライアル9名)沖縄県の後援と、琉球大学との共催で行った 	587
①	地域版:地域公共人材の育成	1回	<ul style="list-style-type: none"> ■宜野湾市地域コーディネーター養成講座・ぎのわん地域づくり塾2018 ・日時 7/2(月)～10/21(日)・内容 全7回講座+スキルアップ講座 ・主催 宜野湾市/宜野湾市社会福祉協議会 ・第1回公開講座69名/企画立案チームには51名(女性:34名、男性:17名) ・委託料は、宜野湾市109万円、宜野湾市社協20万円分担 	1,294
		1回	<ul style="list-style-type: none"> ■なは市民協働大学院 ・日時 7/29(日)～12/8(土)・内容 全8回講座 ・主催 那覇市・業務受託者 NPO法人1万人井戸端会議 ・連携事業者 NPO法人まちなか研究所わくわく 	850
①	外部連携による地域公共人材の育成		・なんじょう♥市民大学<9期生>第7回講座への講師派遣	
②	講師・ファシリテーター派遣による市民ファシリテーターの育成	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業(全5回) ・OICユース2018事業・第5回事前学習 ・糸満市老人クラブ連合会/会員研修 ・公衆衛生活動による母子保健強化(JICA研修)「地域づくりのプロセス」 ・琉球大学公開講座「地域円卓会議マネジメント講座」 ・静岡県中間支援スタッフ研修～沖縄円卓会議から学ぶ協働コーディネート～ ・沖縄大学新入生オリエンテーションプログラム作成に向けた研修会 等 	
③	専門職へのファシリテーション技術研修の開発	通年	<p>【講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県主任介護支援専門員研修「地域援助技術」 ・地域包括支援センター泊・ファシリテーション研修/(医)天仁会 ・市町村社協ボランティア担当者研究協議会/沖縄県社協 ・単位民児協会長研修等の各種民生委員研修 	

①沖縄における地域公共人材の育成。(2011年度～)

<沖縄地域社会ビジョン大学院>

- ・受講生目標25名未達成。琉球大学との共催により195,000円(講師料、旅費)の負担減少のため、人件費に回せた。
- ・テーマ「地域づくりとSDGs(持続可能な開発目標)」を作り、パンフレットに記載した。しかし、テーマのSDGsに関心を持って受講生は得られなかった。
- ・ふりかえり座談会を開催し、8期生7名、6期生1名に参加いただき、次年度への提案を話し合った

<地域コーディネーター養成講座「ぎのわん地域づくり塾」>

- ・沖縄地域社会ビジョン大学院で培った地域公共人材育成ノウハウを地域版として展開することができた。
- ・市外からの参加者層は次のターゲットとなりえる。

<なは市民協働大学院>

- ・1万人井戸端会議との共同実施体制をとることで業務遂行できた。
- ・小学校区まちづくり協議会のあり方を考え、関わる機会となった。

<沖縄地域社会ビジョン大学院>

- ・設定した全体のテーマについて、受講者へのわかりやすい伝達、講師との調整

<地域コーディネーター養成講座「ぎのわん地域づくり塾」>

- ・モデル地区指定型とするか、テーマ指定型とするかは要検討。
- ・他市町村の社協や行政担当者を対象としたオープンデイの開催など、プログラム視察の機会を提供する。
- ・プログラム運営ノウハウの主催者への移転。

<外部連携による地域公共人材の育成>

- ・各自治体の市民大学や人材育成を行っている団体・機関への講師派遣・連携による人材育成。人材育成プログラムのパッケージでの提案。

②市民ファシリテーターの育成。(2004年度～)

<主催ファシリテーター講座>

- ・未実施。

<ファシリテーター・講師派遣>

- ・他のプログラムへ参加した方からの講師・ファシリテーター派遣依頼につながる例がある

- ・中・高・大学生、企業、行政、民生委員、海外研修員、教育関係者、等に対するプログラム提供を行ってきており、それぞれの実績と提供プログラムメニューなどの整理と発信。
- ・外部のファシリテーター・講師と連携した対応の体制を検討。

③専門職へのファシリテーション技術研修の開発。(2014年度～)

- ・地域ケア会議や地域包括ケアシステムの構築など地域福祉分野における参加の場づくりの技術に対するニーズは高まっている。

- ・地域福祉推進の現場(地域ケア会議、民児協定例会議、等)に応じたプログラムづくり。
- ・(地域)コーディネーター職を対象としたファシリテーション基礎研修のプログラム化の検討



沖縄地域社会ビジョン大学院2018



なは市民協働大学院の企画・運営をNPO法人1万人井戸端会議と共同運営



新入生オリエンテーションプログラムづくり研修
沖縄大学法経学部



宜野湾市地域コーディネーター養成講座
ぎのわん地域づくり塾2018(モデル地区:上大謝名自治会)

市民社会をデザインする くらしの環境づくり事業部

市民の力で自ら暮らすまちをつくる事業部。

●事業部方針（2018年度）

- ①「くらし」を支える市民の活動を一緒につくる（2008年度～）
地域自治を支える地域活動の活性化・地域活動支援のビジョンを描く。
- ②多様な市民が連携して「くらし」をつくるための参加の場づくり（2004年度～）
- ③市民社会を支える制度やしきみづくり（2008年度～）
- ④特定の社会課題の解決に取り組む「共同事業」（2004年度～）



第11回マチグワー楽会 ～水上店舗ミステリーツアー～

方針 番号	事業分類	実施 時期	事業の概要	収入年額 (単位:千円)
①	市民活動・NPO 活動等の基盤強 化	10-11 月	■沖縄県NPO等活動基盤強化事業「NPO法人会計基準講座&税理士個別相談会」 ・10月29日(月)うるま市開催 講師:大城逸子氏(大城税理士事務所所長) ・10月30日(火)那覇市開催&11月22日(木)宮古市開催 講師:相浦 圭太氏(税理 士法人TAパートナーズ 代表/DEO) ・11月11日(日)石垣市開催(10月30日(火)那覇市開催相談員) 講師:緑間優氏 (緑間優税理士事務所代表)	2,070
		4回	■なは市民活動支援センター講座2018 ・NPO・市民活動の現場を体験!スタートアップ講座!「知る!体験する!!活か す!」全4回連続講座(9月20日(木)~11月15日(木))	412
		2回	■人材データバンクモデル事業講座ワークショップ(講師) ・まちボラ受入れ連続ワークショップ(全2回)2月3月	152
② ③	「くらし」をつくる ための参加の場 づくり	通年	【ワークショップ運営】・宜野湾市規範的統合研修(全2回)／宜野湾市介護長寿課 【アドバイザー派遣】 ・南城市第2層協議体(大里南小学校区)／南城市社協 ・子どものための児童館とNPOの協働事業(どんどこプロジェクト)事業サポーター:浦 添市宮城ヶ原児童センター 【ファシリ派遣】・ハンセン病市民学会・2018年交流集会への板書支援	
④	特定の社会課題 の解決に取り組 む「共同事業」	通年	■沖縄県民生委員活動活性化事業 ・沖縄県民生委員活動活性化事業。沖縄県より(公財)沖縄県労働者福祉基金協会 との2社で受託。モデル地区支援(8単位民児協)、単位民児協ヒアリング、個人情報 研修、活動強化方策研修、等を実施	9,238
		通年	■「福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業」。県外避難者への生活再建支 援拠点設置・運営。福島県事業。ふくしま連携復興センターより、福島避難者のつど い沖縄じゃんがら会との共同事業体で受託。 ■「避難者支援ネットワークの構築及びコミュニティ強化事業(主催:福島避難者のつ どい沖縄じゃんがら会)」における避難者支援ネットワーク会議の運営。	7,975
		2月	■マチグワー楽会(第11回) 日時:2019/2/23(土)24日(日) 全体テーマ 変わるマチグワー・変わらないマチ グワー 【1日目】第1部 水上店舗ミステリーツアー『入れ子の水は月に轆かれ』／第2 部 <井戸端会議>水上店舗の謎に迫る／第3部ぐるぐる模合【2日目】<車座会議 >公設市場は必要? Yes、No、どちらともいえない ~100年後の市場を考える~	

①「暮らし」を支える市民の活動を一緒につくる(2008年度～)

＜NPO法人会計基準講座&税理士個別相談会＞
 くなは市民活動支援センター・関連事業＞
 ・沖縄県や那覇市の市民活動・NPO活動支援の業務を数年ぶりに受託し行った。
 ・NPO法人会計基準の普及等を軸に、県内の会計・税務専門家ネットワークの構築につながっている。

・沖縄県内の会計・税務専門家のネットワーク構築を進める。
 ・市民の参加、新たな担い手の発掘、若者の活動スタートアップ支援など、市民活動のすそ野を広げる支援に関する、官設型市民活動支援センターの機能強化をサポートする。
 ・那覇市における小学校区まちづくり協議会に関して、テーマ型市民活動との協働や市民個人の参加を促す施策・環境づくり。

②多様な市民が連携して「暮らし」をつくるための参加の場づくり(2004年度～)

・ワークショップ、ファシリテーターの派遣等の依頼先・対象は、行政、NPO、社協・福祉関係機関、大学、地域組織、企業、子ども議会、海外研修生、など。
 ・大学の「新生オリエンテーションプログラムづくり」は新テーマ。
 ・会議やフォーラム等における板書支援(ファシグラ支援)の依頼が複数件出ている。

・単発の講師・ファシリテーター派遣対応から、複数回のプログラムや一定期間のアドバイザー活動への提案。
 ・実績や過去の取り組みのその後(現在)についての情報整理と発信。

③市民社会を支える制度やしきみづくり(2008年度～)

・市民活動支援組織や行政担当部署とのネットワーク構築が進む
 ・地域包括ケアシステム構築に向けた規範的統合研修やコーディネーター人材育成、協議体のプログラムアドバイザー活動等の地域福祉領域における基盤整備に関する業務が増えている。

・市民活動支援部局をもつ市町村担当者のネットワーク構築・活動支援。
 ・休眠預金の配分、活用事業の動向を注視し、みらいファンド沖縄と連携し、必要な対応を行う

④特定の社会課題の解決に取り組む「共同事業」(2004年度～)

＜県外避難者支援＞「福島避難者のつどい沖縄じゃんがら会」との協働実施。2019年3月末でみなし住宅支援の期限が切れたため、今後益々地域社会からの孤立を防ぐ方策が求められていく。
 ＜民生委員活動の活性化＞「沖縄県労働者福祉基金協会」との協働実施。モデル地区(単位民児協)支援の成果の横展開が求められている。
 ＜マチグワー楽会＞運営委員会を中心に自立した運営がなされており、毎年新しいメンバー入ってきている。第一牧志公設市場の建て替え工事が2019年度よりスタートする。

・行政事業が終了するその先を見据えた事業開発。
 ＜県外避難者支援＞
 ・避難者支援のための地域福祉ネットワークの構築の取り組みを、引き続き展開していく。東日本大震災発災から10年となる2021年を見据えた中長期のロードマップを描く。
 ＜民生委員活動の活性化＞活動しやすい環境整備のため、単位民児協支援のプログラム開発に取り組む。4年目以降の事業提案を行っていく。
 ＜マチグワーに関すること＞
 ・公設市場の再整備に関連した動きの記録と論点提供、再整備に伴い発生する事案について、必要に応じた対応。



福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業
避難者相談・交流会<沖縄>



NPO法人会計基準講座&税理士個別相談会(in うるま市、那覇市、宮古島市(主催:沖縄県))



沖縄県民生委員活動活性化事業。宜野湾市真志喜中校区民児協(第2回モデル地区会議)



第11回マチグラー楽会。水上店舗ミステリーツアー『入れ子の水は月に轆かれ』～著者とともに歩く～

社会課題を調査する 調査・研究事業部

市民目線での地域課題の調査・研究。

●事業部門方針（2018年度）

- ①地域情報の調査・研究（2004年度～）
- ②地域の「困り事」を社会課題として共有する地域円卓会議（2010年度～）
- ③中間支援機能に関する調査・研究
- ④地域の課題解決・価値創造のための「技術」の普及・啓発（ブックレット）（2015年度～）
- ⑤委員派遣



公共交通を福祉とまちづくりの視点から考える地域円卓会議

方針 番号	事業名	実施 時期	事業の概要	収入年額 (単位:千円)
①	地域情報の調査・研究	8-3月	<p>■南城市津波古区地域コミュニティ計画策定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波古区自治会からの依頼。全住民アンケート調査、課題と資源の整理、事業・活動案づくり 	
		通年	<p>■地域情報誌「み～きゆるきゆる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・vol.1-7販売中。Vol.8(特集:ユッカヌヒー)のWEBでの無料配布を準備中。 	
②	地域の「困り事」を社会課題として共有する地域円卓会議	8回	<p>■地域円卓会議運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/3(日)久高島へのUターンを考える地域円卓会議、主催:南城市、久高区、参加者18名 ・沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議、主催:沖縄県、沖縄子どもの未来県民会議 → 第1回:10/2(火)、参加者60名/第2回:1/14(月)、参加者47名/第3回:2/12(火)、参加者85名 ・12/17(月)子どもの居場所の資金を考える地域円卓会議、主催:公益財団法人みらいファンド沖縄、参加者40名 ・12/18(火)単身シニア女性の貧困を考える地域円卓会議、主催:公益財団法人みらいファンド沖縄、参加者24名 ・1/26(土)認知症に起因する徘徊と安心なまちづくりを考える地域円卓会議、主催:沖縄県高齢者福祉介護課、参加者49名 ・3/9(土)公共交通を福祉とまちづくりの視点から考える地域円卓会議、主催:那覇市議会 無所属の会、参加者45名 	
③	中間支援機能に関する調査・研究		<p>■宜野湾市中間支援機能実態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の市民活動団体へのアンケート調査、ヒアリング調査、調査結果報告会・交流会の開催 <p>■地域福祉の充実のための地域のNPOセンター(中間支援組織)と地域福祉関連領域との連携創出支援事業(主体:NPO法人日本NPOセンター、NPO法人ふくおかNPOセンター)へのアドバイザー会議への委員参画</p>	1,280
④	テキスト・ブックレット	通年	・未着手	
⑤	委員派遣	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・うるま市地域活動助成事業選考委員/宜野湾市市民協働推進協議会/沖縄県ボランティア・市民活動支援センター運営委員/沖縄県共同募金委員会評議員/糸満市共同募金委員会助成審査委員 	

①地域情報の調査・研究（2004年度～）

・津波古区における地域コミュニティ計画策定は新規案件であり、全住民アンケート調査の実施も初めての経験となった。

・住民の声・ニーズに基づく地域計画づくり、その後の活動支援に関するノウハウの積み上げ
 ・大事な2つの視点として、「ニーズ」に基づくアクションプランづくりと「資源」に基づくアクションプランづくりがあり、両面から検討することが重要

②地域の「困り事」を社会課題として共有する地域円卓会議（2010年度～）

・みらいファンド沖縄と共同で開催し、9年目。
 ・活用の場面については、プロジェクトのキックオフ、社会調査の前の課題共有、政策マーケティング・提案、課題解決にむけた支援者・資源マッチング、等で活用されている。
 ・琉球大学の連続講義として、地域円卓会議マネジメント講座が開催された。
 ・円卓会議の県外移転に関し、静岡県にて中間支援組織・職員向けのセミナーが開催された。

・円卓会議マニュアルの第2弾の制作
 ・円卓会議後の次の展開につながるプログラムづくり

③地域の課題解決・価値創造のための「技術」の普及・啓発（ブックレット）（2015年度～）

・研修で使っている資料はあるが、ブックレットは未着手。

—

④委員派遣（2004年度～）

・市民活動への資金提供プログラムの審査・選考に関する委員
 →うるま市地域活動助成事業選考委員、糸満市共同募金委員会助成審査委員
 ・協働推進・市民活動支援に関する委員
 →宜野湾市市民協働推進協議会、沖縄県ボランティア・市民活動支援センター運営委員、地域福祉の充実のための地域のNPOセンター（中間支援組織）と地域福祉関連領域との連携創出支援事業アドバイザー会議
 ・組織運営に関する委員
 →沖縄県共同募金委員会評議員

・継続して対応していく



南城市津波古区・地域コミュニティ計画策定事業



久高島へのUターンを考える地域円卓会議



子どもの貧困対策に向けた3回の円卓会議
(主催: 沖縄子どもの未来県民会議)



公共交通を福祉とまちづくりの視点から考える地域円卓会議

総務部

法人の円滑な運営。

●事業部方針（2018年度）

- ①働きやすい・活動しやすい・スキル向上のための環境整備
- ②総務業務の効率化・負担軽減
- ③法人の信頼性向上と提供サービス明確化のための情報発信力の向上
- ④理事会における適切な判断のための情報提供
- ⑤会員・理事・スタッフ・ボランティアの交流機会づくり



方針 番号	事業名	実施 時期	事業の概要
①	働きやすい・活動しやすい・スキル向上のための環境整備	通年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人事 <ul style="list-style-type: none"> ・2018年8月、2019年2月に下地・賀数の理事面談を実施 ■ 労働環境 <ul style="list-style-type: none"> ・期末手当(賞与)の導入 ・健康診断の受診 ・役員の労災保険の検討(未加入) ■ 人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会への参加
②	総務の効率化・負担軽減	通年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会計 <ul style="list-style-type: none"> ・月次会計(黒字11ヶ月、赤字1ヶ月) ・つなぎ融資として借入の実施(琉球銀行) ・今期も昨年度に引き続き黒字決算 <hr/> <p>通年 【税務】大城税理士事務所と顧問契約及び一部業務委託 【労務】一部業務委託の検討し、顧問契約を結んだ</p>
③	法人の信頼性向上と提供サービス明確化のための情報発信力の向上	通年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広報 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのアクセシビリティの向上は対応できず ・メールマガジンの発信(11回) ・アニュアルレポートの作成に着手
④	理事会における適切な判断のための情報提供	通年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 組織運営 <ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催(5月) ・理事会の開催(年2回) ・理事ミーティングの開催(年7回) ・拡大理事会の開催(1月)
⑤	会員・理事・スタッフ・ボランティアの交流機会づくり	1回	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会員向け勉強会(2回) <ul style="list-style-type: none"> ・2018年7月15日(日)10:00-12:00「学校・教育現場におけるファシリテーションを考える」、ゲスト:川中大輔氏、参加者:10名 ・2018年9月18日(火)19:00-21:00「地域づくり」と「地域ケア会議」、ゲスト:島村聡氏、参加者:12名

黒字を継続

- ・毎月の理事ミーティングで月次会計を確認。6月以降の単月黒字を実現。
- ・年度決算においても黒字化を実現し、累積赤字を解消することができた。

労務に関する社会保険労務士事務所との顧問契約**銀行からの借り入れ**

- ・委託者からの委託事業費の支払いまでのつなぎ資金として、銀行より借入を2度(5月、12月)行った。2018年5月に返済予定。

職員の基礎スキル向上のための機会

- ・職員研修として「ファシリテーション基礎講座(主催:NPO法人日本ファシリテーション協会)」受講(賀数)、「NPO法成立20周年記念フォーラム」出席(小阪)。

ホームページのリニューアル

- ・ファシリテーター派遣・講師派遣についての情報を更新。

理事によるスタッフ面談の実施

- ・職員(下地・賀数)のスタッフ面談を実施。

理事・会員とともに2018年度事業振り返りと次年度事業に向けてのミーティング「拡大理事会」を開催**法人設立20周年に向けた準備**

- ・記念事業実施に向けた資金積み立ての開始

- ・月次会計の管理は継続し、毎月の理事会でチェックしていく。
- ・昨年度に引き続き、四半期ベースでの黒字化を目指し、運営を行う。
- ・労務について、社会保険労務士との顧問契約を生かし、総務スタッフの負担軽減を図る。
- ・本事業報告書の作成について、月々の理事会資料と連動させる
- ・時間外勤務と時間外手当の導入など、昨年にも引き続き、労働環境の整備を進める。
- ・スタッフ全体の育成について、必要な力・スキルの定義を行い、育成プログラム開発を行う。学んだことを日常の仕事に生かすプロセス(ふりかえり・アウトプット)をつくる。
- ・月1回、事務局ミーティングを持ち事業全体の進捗状況の把握や勉強会等を行う
- ・理事主導によるスタッフ面談の実施。上半期8月、下半期2月の実施の固定化。
- ・ホームページリニューアル(団体の信頼性向上とサービスメニューの整理)を法人設立20周年に向けて準備する。
- ・紙媒体の制作し、商品カタログ等の検討を行う
- ・理事と会員でのまちわく事業展開を検討する場(拡大理事会等)を継続して開催
- ・会員向け勉強会を継続実施
- ・引越越し資金と20周年事業に向けた資金積立を実施
- ・長期借入金の返済計画の立案



通常社員総会(「てる屋」にて)



決算理事会



会員交えての拡大理事会(天久ヒルトップにて)



<会員・理事向け>勉強会・意見交換会を開催
「地域づくり」と「地域ケア会議」

2018年度 役員・会員名簿

理事

小阪 亘（代表理事・常務）
宮道 喜一（副代表理事・常務）
與儀 隆一
岩田 直子
南 信乃介
親泊 正樹
上原 千加子
川中 大輔（社外理事）

監事

伊良皆 和弘
喜屋武 真司

顧問

伊藤 雅春
小野 尋子

フェロー

稲垣 暁
武田 佳子

正会員

岩田 直子、小阪 亘、小阪 孝義、
小松 かおり、佐々倉 玲於、
第一牧志公設市場組合 組合長 粟国 智光、
野原 巴、宮道 喜一、武田 佳子、
與儀 隆一、上原 千加子、親泊 正樹、
南 信乃介、平中晴朗、安慶名豊美、
東濱 克紀、佐藤 学、知念 忠彦、
仲根 建作、饒波 正博

賛助会員

宮道 良子、呉屋 真心、篠原 辰二、
續 洋子



特定非営利活動法人
まちなか研究所

わくわく

特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 2018年度（平成30年度）事業報告書

〒902-0065 沖縄県那覇市壺屋1-7-5 民衆ビル4F

TEL & FAX: 098-861-1469

Email: office@machiwaku.com

<http://www.machiwaku.com/>